

公益財団法人 檉の芽会 御中

令和6年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		①作成日	令和7年5月21日
②法人・団体名	一般社団法人神戸みらい学習室		
③団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	〒651-2243 神戸市西区井吹台西町		
④責任者氏名	佐々木 宏昌	(役職名等)	代表理事
⑤担当者氏名	羌 叡應	(役職名等)	事務局長

【奨学活動の概要】

⑥助成交付決定番号	R06-007	⑦助成金額	150万円	⑧申請カテゴリー	DS
⑨奨学活動名	経済的な事情など様々な困難を抱える中学生への地域型学習支援				
⑩主な実施場所 名・及びその 住所	①学園都市校：神戸市西区学園西町 1-1-2F (神戸市外国語大学サテライト) ②住吉校：神戸市東灘区住吉東町 5-1-16 (神戸市東灘区文化センター会議室)				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式3-2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

経済的な事情など様々な困難を抱える中高生を対象に無料学習支援を全 50 回×2 教室開催：①生徒と講師の特性に応じた最適マッチングを毎週行うとともに、全国シンポジウムにて発表。②大学生講師が高校や大学生活を通じて勉強する意味をプレゼンする「夢ゼミ」を 10 回、③模試受験 3 回・保護者面談・小論文面接対策などの結果、中 3 生全員が高校受験志望校に合格。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式3-2等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	1,100	4	4,400	A：44 人÷2×50 回
高校生等	325	4	1,300	A：13 人÷2×50 回
大学生等	—	—	—	
学習支援員 等	1,075	4	4,300	A：43 人÷2×50 回
その他	250	4	1,000	A：10 人÷2×50 回
合 計			11,000	

⑬その他の定量的な数値（任意）

- ・受講生数 学園都市校：中学生 32 名、高校生 8 名、住吉校：中学生 12 名、高校生 5 名
- ・高校進学実績（複数合格含む）：
学園都市校：公立一般 5 名、公立推薦 5 名、私立 3 名、住吉校：公立推薦 2 名、私立 3 名、通信制 1 名
- ・内申点：受講前と比較し、すべての受講生が上昇。
- ・外部模試（中学 3 年生）：8 月・10 月・1 月と 3 回受験。
※特に、公立推薦の受験生は複数に渡る模擬面接や小論文指導の実践により、合格者数が上昇。
- ・事業検証アンケート調査（対保護者）を行った結果、満足度については、満足が 92.3%、おおむね満足が 7.7%であり、不満や大変不満という回答はなかった。

1.対象者 2025 年 3 月 1 日時点の保護者（33 人）

2.実施期間 2025 年 3 月 16 日（日）～5 月 13 日（火）

3.調査手段 Google Form（公式 LINE への一斉通知にアドレス添付）

4.回答者数 26 人（1 年生 2 人、2 年生 11 人、3 年生 13 人）

- ・満足度（回答者 26 人）：満足 24 人、おおむね満足 2 人、やや不満 0 人、不満：0 人
※特に、3 年生で回答が得られた保護者 13 人のうち、全員から「満足」との評価
- ・学習室の良い点：①教材の無償提供、②専門家からの指導・助言、③夢ゼミの聴講
※3 年生は、④模擬試験の無料受験、⑤専門家による進路相談が多かった。
- ・通所後の変化：①勉強に取り組む意欲が以前よりも増した、②勉強する習慣が身に付いてきたが多く、勉強に対して前向きに取り組む姿勢へと変化したことを確認。
- ・要望：①学習室にいる時の様子を教えてほしい、②家庭学習の重要性を教えてほしい
③適度な宿題を与えてほしい など

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：経済的な事情など様々な困難を抱える中学生への地域型学習支援

法人・団体名：一般社団法人神戸みらい学習室

作成者 氏名：佐々木 宏昌

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

経済的な事情など様々な困難を抱える中高生を対象に個別習熟度別の無料学習支援を実施：①中学生と講師の特性に応じた最適マッチングを毎週行うとともに、②大学生講師が高校や大学生活を通じて勉強する意味をプレゼンする「夢ゼミ」、③模試受験代の助成・保護者面談・小論文面接対策など、高校受験に向けて地域の大人が全力で寄り添い、励まし、伴走する質の高い地域型学習支援の実施および拡大に取組みました。

2. 実施した奨学活動の詳細

(1) 学園都市校の運営（神戸市西区：西部拠点） 平成 29 年 8 月開校（8 年目）

- ①場所：神戸市外国語大学サテライト教室（市営地下鉄学園都市駅前）
- ②日時：毎週日曜日 13 時～17 時（全 50 回）
- ③2024 年度末時点の参加者数
 - ・受講生数 40 名（3 年 13 名、2 年 16 名、1 年 3 名、高校生 8 名）
 - ・講師数 33 名（神戸市外大 17 名、神戸大 3 名、京大 2 名、兵庫県立大 1 名、他大学 3 名、社会人 7 名）
 - ・スタッフ数 8 名（神戸市職員 3 名、社会人 5 名）
- ④進学実績 13 名（公立一般 5 名、公立推薦 5 名、私立 3 名）



学園都市校の学習風景

(2) 住吉校の運営（神戸市東灘区：東部拠点） 平成 30 年 4 月開校（7 年目）

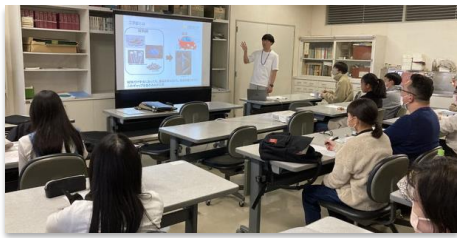
- ①場所：東灘区文化センター（JR 住吉駅前）
- ②日時：毎週日曜日午後 13 時～17 時（全 50 回）
- ③2024 年度末時点の参加者数
 - ・受講生数 17 名（3 年 6 名、2 年 4 名、1 年 2 名、高校生 5 名）
 - ・講師数 10 名（神戸大 6 名、大阪大 1 名、社会人 3 名）
 - ・スタッフ 2 名（兵庫県職員 1 名、社会人 1 名）
- ④進学実績 6 名（公立推薦 2 名、私立 3 名、通信制 1 名）



住吉校の学習風景

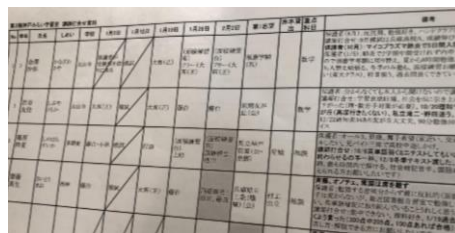
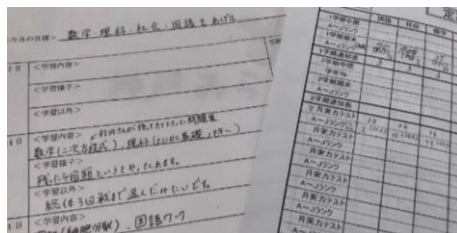
(3) 支援の充実

- ① 夢ゼミ（大学生講師が、自身の体験や学生生活を通じて勉強する意味をプレゼン）の拡大：
 - ・企業の経営者や社員に登壇者を拡大し、一般の中学生も受け入れる。



夢ゼミの風景

- ② 受講生カルテ（受講生ごとの指導記録）の作成



受講生カルテ

受講生と講師の最適マッチングシート

- ③ 出欠管理とマッチングシステムの構築：
 - ・相性を踏まえた講師と受講生の最適マッチングを実施。
 - ・毎週、互いの特性や相性を踏まえた講師と受講生の最適マッチングを検証
- ④ 外部模試への参加（受験料助成の導入）：
 - ・8月、10月、1月に、模試に参加し、本番経験を提供。
- ⑤ 受験生への支援：
 - ・受験校の過去問題集の提供
 - ・論文指導、模擬面接（公立推薦の対応）
 - ・論文対策 12～1月（講師による論文（過去問）の添削指導）
 - ・面接対策 1～2月（講師による模擬面接指導）
 - ・進路相談 8月～12月（専門家・担当講師による3者面談）
- ⑥ 保護者面談（6～8月頃）、日常的な相談支援
- ⑦ 発達特性のある子ども支援：
 - ・専門家による個別プログラムの作成、講師へのフィードバック（10回）
- ⑧ 新人講師は指導前動画視聴

(4) 情報発信

- ① 毎週 FB の配信：神戸みらい学習室（平成 29 年 12 月 開設）
- ② リーフレット（令和元年 5 月刊行）更新（2024 年 5 月 500 部、2025 年 3 月 500 部）



神戸みらい学習室
公式ホームページ

③ メディアでの情報発信：神戸新聞特集 2024 年 5 月 5 日掲載、広報こうべ 2025 年 2 月号



神戸新聞特集 2024 年 5 月 5 日号



広報こうべ 2025 年 2 月号



(5) 他団体との連携

学習支援全国大会 in 神戸

- ・神戸市学習支援協議会：平成 30 年 10 月 13 日、質の向上と量の拡大を目的に設立（7 年目）
- ・協議会加盟 25 団体に拡大、学習支援全国大会 in 神戸の開催（11 月 9 日 アンカー神戸）

【NPO 連携】 毎月最終土曜日に定例会を開催

NPO キッズドアとの連携（ハイレベル高校生支援の開始、神戸みらい 2 名）

【神戸市連携】 市事業「ぼらくる」でのボランティア講師の紹介(2024 年 12 月～)

市事業「地域貢献応援フェア」スタッフ募集への出展（2025 年 1 月 26 日）

【企業連携】 一般財団法人藤井幸男記念・教育振興会よりドンクパンの差し入れ（毎月最終日曜）
夢ゼミ講師依頼、視察受入

【大学連携】 神戸市外国語大学との連携、講師紹介、神戸大学ボランティア論での講師紹介

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

本活動を 7 年間実施してきたことで、神戸市内ではありますがマッチングの重要性や夢ゼミを実施する地域団体が増えてきたのではないかと考えています。2024 年度も積極的に活動を行い、11 月 9 日には全国の学習支援団体を対象に初めて神戸で全国シンポジウムを行いました。また、大学や企業との連携も進めることができたと思います。ただ、企業との連携については想定より遅れており、次年度の課題と考えています。

次年度は、マッチングシステムの精度を上げ、全国展開に向けて改良を行うとともに、全国規模のシンポジウムを引き続き神戸で開催し、地域型学習支援が神戸だけでなく、全国に広がっていくよう全力で取り組みたいと思います。

4. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）

＜神戸市外国語大学 国際関係学科 准教授 中嶋 圭介＞

神戸市職員の方が中心となり、神戸市西区の学園都市地域で中学生を対象に無料の学習支援のボランティア活動を 2017 年度から実施されている。2018 年度には、同市東灘区本山地域（現在は住吉地域）に 2 校目を開設したほか、市内の複数の学習支援団体と連携して神戸学習支援協議会も設立され、地域に根付いた活動となった。コロナ禍にはオンライン学習を速やかに開始し、神戸市の 2020 年度「ICT を活用した生活困窮者学習支援事業（リモスタ）」や、2021 年度「学びへつなぐ地域型学習支援事業」の創設につなげるなど、市の施策への反映も実現された。2024 年度は全国シンポジウムを神戸で開催する等、関係機関と連携しながら積極的に地域社会の課題解決に向けた活動を実践している団体であり、今後の一層の発展を期待している。

以上